

2018年1月
(No.34)

あこう社協だより

よいしょ!



シリーズ 知っていますか?社協の事業 ～生活支援コーディネーター 編～	2P
地域の困りごと応援隊	4P
赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動 今年度もご協力ありがとうございました!	5P
まち発見!あこう福祉ニュース	6P
～阪神・淡路大震災から23年～ 1.17を忘れない	8P
(サロン紹介) 喜楽会	10P
知っ得あんしん みんなの介護保険 No.9	11P
ちょっといい話/春の貸衣裳予約会	12P

12月16日(土)～24日(日)にかけて、市内14地区で『三世代交流もちつき大会』が行われました。

この事業は、歳末たすけあい運動の一環として、子どもから大人・高齢者までの三世代が餅つきで交流しながら、実施されています。

つきあがった餅は、ひとり暮らし老人・高齢者世帯の対象者に配られました。

(写真は、12月16日 坂越地区の様子)

シリーズ **知っていますか？社協の事業**

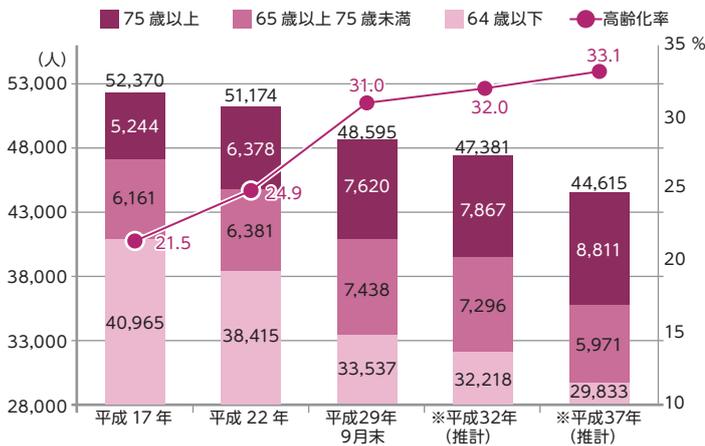
生活支援コーディネーターが 住民主体の助けあい活動を推進します！



今後さらに進展すると言われている少子高齢化。その他にも単身世帯の増加、社会的孤立など、さまざまな課題が私たちの住む地域にも出てきています。

そういった課題に対応するためには、専門職だけでなく、住民主体の生活支援サービスを拡充し、助けあいの体制を、それぞれの地域課題に合わせて作っていくことが必要です。

今回は、助けあいの体制を作るとき、皆さんと一緒に考えていく『生活支援コーディネーター』の仕事をご紹介します。



**今後、人口は減少
75歳以上の方は増加**

平成29年9月末と平成37年を比較すると、赤穂市全体の人口は約4,000人減り、高齢者人口（65歳以上の方）も約280人減少と言われています。

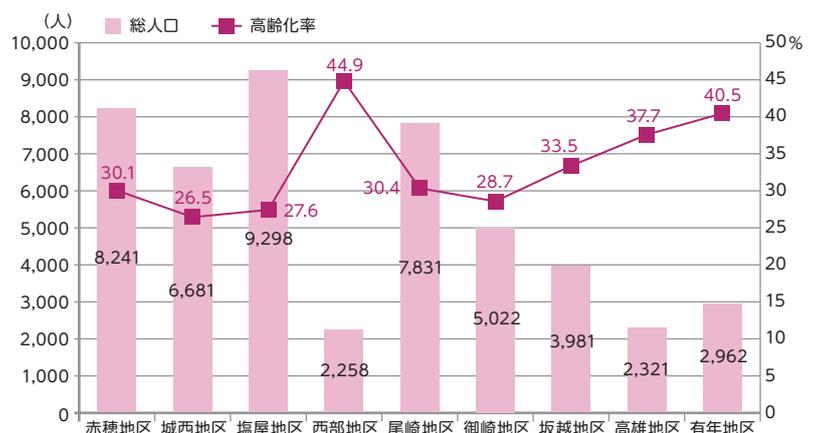
そんな中、75歳以上の方は約1,200人増加する見込みです。一般的に、75歳以上の方は、65歳以上75歳未満の方と比べ、介護が必要な状態になりやすいとされ、介護を必要とする方が、今後ますます増えることが予想されています。

※「第6期赤穂市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画」より

**あなたの住んでいる地区を
見てみよう**

高齢化率を地区別で見ると、市内では西部地区の44.9%が一番高く、城西地区の26.5%が一番低い数値になっています。

※平成29年9月末現在



介護を必要としている**高齢者が増える**...

そして、**時代は少子化**...

つまり!

『介護サービスを支える人が減っていく』

ということです!



今こそ、高齢になっても住み慣れた自宅で生活できるように『助けあいの地域づくり』について考えるときです



団塊の世代全員が75歳以上となる2025年には、約3人に1人が65歳以上になると予想されるなど、今後も高齢化は確実に進んでいきます。医療や介護の受け方、日常生活の送り方は、大きな見直しを迫られています。

そんな中、地域組織やボランティア、NPO、民間企業など、地域のごまごまな主体が連携を図り、高齢者の生活支援体制を整備することを目的として、「赤穂市生活支援体制整備事業」が、平成28年度よりスタートしています。

社協では、平成29年度より、赤穂市から事業を受託し、生活支援コーディネーターを2名配置しています。生活支援コーディネーターは、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実を目指し、身近な地域での助けあいを推進し、助け上手・助けられ上手の地域づくりを進めます。

生活支援コーディネーターが地域の皆さんと一緒に、地域課題の解決方法を考えます

《生活の困りごと》

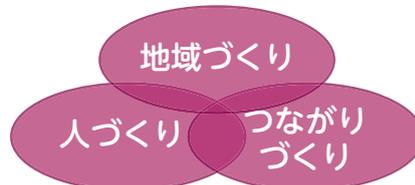
- 足腰が弱ってきて、掃除を自分ですることが難しい
- スーパーが遠く、買物に行くことが難しい など

今後、このような困りごとが増える可能性が…



《助けあいの体制》

- 元気な高齢者の参加
- 地域の企業・NPOの協力
- 若い世代の参加
- 住民一人ひとりの関心 など



将来の住みやすいまちづくりへ知恵と力を合わせます

高齢者の社会参加による助けあいが必要です

発信・説明・提案



地域資源の発信

住民の集う場（いきいきサロンなど）を訪問し、『**地域の宝物**』を見つけ、広報紙などで、皆さんに発信します

担い手の発掘・育成

講座や座談会を通じて、担い手の発掘・育成を行います

生活支援ニーズの把握・共有

聞き取り・アンケート調査などを行い、地域課題を把握します



連携・協力

住民・関係機関との連携・協議・協力

まずは、わいわいガヤガヤの雑談から思いを語りあい、それぞれの生活で抱えている課題を、皆で共有します。そして、課題の解決に向けた協議を、関係機関とも連携・協力しながら少しずつ進めていき、形にしていけます



『**地域の宝物**』さがしにご協力をお願いします！

「うちの地域でこんなことしているよ」などの情報を、ぜひ社協まで連絡してください。生活支援コーディネーターが行かせていただきます。

社協 ☎ 42-1397

「地域の困りごと応援隊」

ちょっとした「困りごと」を ちょっとの「手助け」で

昨年の10月より、日常のちょっとした困りごとを、住民同士の助けあいで解決する仕組みである「地域の困りごと応援隊」を開始し、約3カ月が経過しました。

実際に、草抜きや窓ふき、エアコンフィルターを取り外し、棚の組み立てなどのちょっとした困りごとの依頼に対応しています。「こんなことで良かったら」という困りごと応援隊の思いと、「こんな仕組みを待っていた」という依頼者の声に支えられ、住みなれた地域で安心して暮らし続けられる地域づくり、助けあいの輪が広がっています。

困ったときは
お互いさま



- ◎利用できる方 (利用者) 赤穂市内にお住まいの方で、高齢者や障がいのある方、子育て中の方など、ちょっとした困りごとを抱えておられる方
- ◎支援内容 家事(簡単な掃除、ごみ出し、布団干し、窓ふきなど) 暮らしのお手伝い(電球交換、家具の移動、衣替え、草抜きなど) ※原則として、依頼者もできる範囲で一緒に活動をお願いします。
- ◎利用可能日時 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時～午後5時
- ◎利用対価 10分 100円 (依頼者宅までの移動時間は含みません) ※活動に必要な実費は、別途必要です。

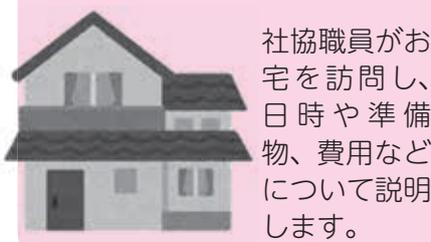
～利用のながれ～

まずは、赤穂市社協(42-1397)にお電話ください。

1 はい、社協です



2 こんにちは、社協です



3 はじめまして、応援隊です



4 お互いに“ありがとう”



～活動中の様子～



衣替えのお手伝い



カーテンの取り外し・取り付け

・利用者募集中

「こんなことで困っている」「こんなことを頼んでもいいのかな？」など、まずはお気軽にお問い合わせください。

《問い合わせ先》 赤穂市社会福祉協議会 電話：42-1397 F A X：45-2444

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動 今年度もご協力ありがとうございました！



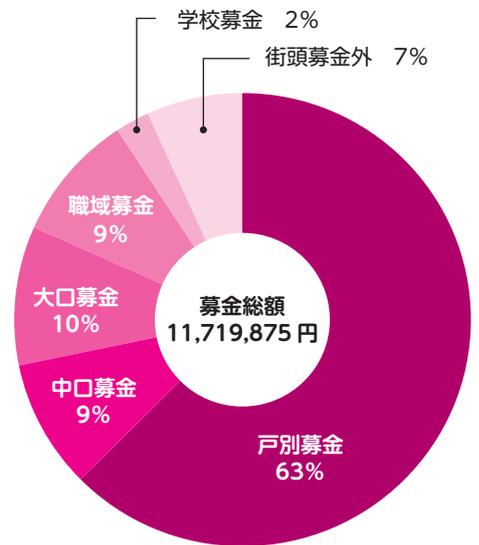
10月に行われた赤い羽根共同募金運動では、市民の皆さまのご協力のもと、多くの募金が寄せられました。今年度もあたたかなご協力をありがとうございました。

集められた募金は、平成30年度に県内の民間社会福祉施設などに配分されるほか、その大部分が、赤穂市社会福祉協議会の小地域福祉活動や高齢者・障がい者・児童福祉活動、ボランティア活動などへ配分されます。

皆さまの手で集められた募金が、まちの福祉向上につながるよう、有効に活用させていただきます。

平成29年度共同募金実績報告

区 分	目標額 (円)	実績額 (円)	左 の 内 訳
戸 別 募 金	7,350,000	7,341,800	15,213戸
中 口 募 金	1,050,000	1,071,500	757件
大 口 募 金	1,100,000	1,159,227	187件
職 域 募 金	赤い羽根	407,925	
	バ ッ ジ	120,900	260個
	クオカード	316,540	833枚
	図書カード	210,000	500枚
	愛ちゃんシール	15,886	47個
計	1,100,000	1,071,251	
学 校 募 金	300,000	269,527	5,936人
街 頭 募 金 外	600,000	804,457	無人募金箱 430,144円
			街頭(25回実施) 374,313円
その他(預金利息)		2,113	前年度繰越利息外
合 計	11,500,000	11,719,875	達成率 101.91%



～ 歳末たすけあい運動 ～

●高雄小学校児童の皆さんより



6月に田植えをし、児童の皆さんの手で収穫されたもち米を、今年も30kg寄贈していただきました。ひとり暮らし老人の会(ひまわりの会)や介護特別食などに配分させていただきます。

●赤穂高等学校生徒の皆さん



12月14日(木)義士祭にて、赤穂高等学校生徒および赤穂市仏教会の皆さんによる街頭募金活動が行われ、たくさんの方にご協力いただきました。

●赤穂市仏教会の皆さん





ボランティアによるお祭り

11月19日(日)、福祉会館全域において「第35回し・あ・わ・せフェスティバル〜フクシふれあいまつり〜」を開催しました。当日は、約3,000名の方が来場し、ボランティアグループや福祉団体による模擬店やバザーのほか、福祉体験スタンプラリーやアキュラシー大会などが行われ、大人から子どもまで、たくさんの笑顔が見られました。



赤穂御崎の海で縁つむぎ

12月2日(土)、桃井ミュージアムにおいて、出会いの広場事業(婚活パーティー)を開催し、未婚の男女各16名が参加しました。講師による「恋愛力UPセミナー」に始まり、食事やリース時計作りなどを通して、6組のカップルが誕生しました。皆さん、お幸せに!



障がいを みんなで考える

12月9日(土)、総合福祉会館にて、「障がい者週間ともに考える市民のつどい」が開催され、約200名が参加しました。つどいでは、福祉作文入賞者の表彰・各部大賞作品の発表、NHK手話ニュースキャスターの中野佐世子氏の講演、障がい者施設等による展示、即売会が行われました。

まち発見! あこう福祉ニュース



2年連続の入賞

「第30回近畿市町村広報紙コンクール(毎日新聞社ほか主催)」において、『あこう社協だより』が昨年の奨励賞に続き、優良賞を受賞しました。審査対象となったのは、平成29年9月号です。

この受賞を機に、さらに読みやすい広報紙にしていきたいと思っております。市民の皆さまからの、ご意見ご感想をお待ちしています。





あなたのところにもやってきた？

社協では、地域でのクリスマス行事を盛り上げるために、サンタクロースの衣裳を無料で貸し出ししています。昨年12月1日～25日の間、市内のふれあい・いきいきサロンや幼稚園、福祉団体など、希望のあった14団体に貸し出し、それぞれのところでサンタが現れました。



車いす寄贈

この度、関西遊技機商業協同組合様より、兵庫善意銀行を通じて、車いす1台が寄贈されました。この車いすは、「福祉用具貸与事業」の備品として、市民の皆さんへ無料で貸し出しを行います。ありがとうございました。

よりよいサロンにするために



11月～12月にかけて、赤穂市でいきいきサロンを行っているメンバーが、たつの市のいきいきサロンに参加し、スタッフや参加者と交流しました。地域性などは違っても、サロンを実施する上での“あるある話”で盛り上がり、交流を深めました。



12月7日(木)、「いきいきサロン実践講座」を開催し、22名が参加しました。今回は、缶詰などの空き缶に、スポンジや筆を使って絵具で色づけし、おしゃれな容器に変身させました。手軽にできるため、「うちのサロンでもやってみよう!」と、さっそく取り入れるサロンも出てきました。



12月17日(日)、「いきいきサロン陽だまり(正保橋町)」では、初めての試みとなるバザーが開催されました。8月から各家庭に依頼し、野菜をいつもより多めに作ってもらい、当日販売されました。その他にも、食器や手作りのパンなども好評で、たくさんの人が買い求めていました。



～阪神・淡路大震災から23年～

1.17を忘れない

—1995年1月17日 午前5時46分—

国内史上初の震度7が観測された地震。
死者6434人、約64万棟の住宅に被害が出ました。
あの日から、23年が経とうとしていきます。
(写真提供：神戸市)



～1.17 ひょうごメモリアルウォーク 2018～

- 日 程 平成30年1月17日(水)
午前7時福祉会館出発
午後5時30分帰着(予定)
- 内 容 「1.17ひょうごメモリアルウォーク2018」
→5kmのコースをゆっくり歩きます。
「1.17のつどい」
→つどいに参加し、震災を語り継ぎます。
- 募集人数 20名(定員になり次第締め切り)
- 参加費 一人1,000円
(昼食代は別途自己負担)
- 申込締切 1月10日(水)
- 申込先 ボランティアセンター
☎42-1397

参加者募集!!



167万人が被災地へ駆け付ける

「震災を経験していない」
2021年には5割に

被災地には、震災直後の1年間で138万人のボランティアが駆け付け、多い時で1日2万人が活動し、被災者を支援するボランティア団体やNPOが数多く生まれました。1995年は、後に『ボランティア元年』と呼ばれるようになりました。
阪神・淡路大震災をきっかけに定着したボランティアは、地震だけでなく、豪雨災害の被災地など、活動の場は広がり、今では復旧・復興に欠かせない存在になっています。

神戸市の調査では、震災を経験していない市民の割合は4割を超えます。その割合は年々増しており、震災から26年の2021年には、市民の半数が震災を経験していないと推計されています。
阪神・淡路大震災だけでなく、災害は年月が経つにつれ、関心が薄まり、風化しがちです。私たちにできることの一つとして、災害を知り、それを伝え、将来発生すると言われる災害に備えることが大切です。

赤穂市でも災害ボランティアが活躍



丹波市での活動の様子 (H26)

赤穂市でも、いつ災害が発生するか分かりません。社協では、平常時における「災害ボランティア養成講座」の開催を通じて、災害ボランティアの登録を行っており、70名（平成29年12月末現在）の方に登録いただいています。登録いただいたボランティアの方には、平常時における『災害ボランティアセンター開設訓練』への参加や、被災地の復興支援活動をお手伝いいただいています。

今年度についても、下記のとおり講座・訓練を開催しますので、ぜひご参加ください。また災害ボランティアへの登録は随時行っています。登録いただいた方には、被災地支援活動や、訓練などの予定を直接ご案内します。

☆災害ボランティア養成講座☆

赤穂市内や他市町で大きな災害が発生したとき、災害ボランティアとして活動していただける方、災害ボランティア活動に関心のある方。この講座で、あなたができることを見つけませんか？



- 日時 平成30年1月27日（土）午前10時～正午
- 場所 総合福祉会館 3階集会室
- 内容 『災害ボランティアの心構え
必要な知識や技術を学ぶ』
- 講師 被災地NGO協働センター 代表 頼政良太氏
- 対象 災害ボランティアに関心のある方
- 定員 20名
- 参加費 無料
- 締切 1月18日（木）
- 申込 ボランティアセンター ☎42-1397

災害ボランティアセンター開設訓練を実施します

今年度も災害ボランティアセンター開設訓練を行い、被災時にボランティア活動を円滑に行うため、訓練を実施します。

市民の皆さんも、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。力を合わせて災害に備えましょう！



(昨年の訓練の様子)

- 日時 平成30年2月18日（日）午前9時～正午
- 場所 総合福祉会館
- 問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎42-1397

～あここのホツとな人～

No. 19

今回は、「赤穂防災士の会」副会長、市消防団第6分団副団長として、地域の防災力向上を目指し、日々活動している中谷さんにお話を聞きました。

Q. 活動を始めたきっかけは？

A. 仕事や消防団の活動を通じて、防災の知識をもっと身に付けたいと思い、防災士の資格を取得しました。その中で、「一人でも多くの方に、防災意識を高めてもらいたい」という、同じ思いの方たちと出会い、「赤穂防災士の会」を立ち上げました。会では、防災の意識向上のための研修会やイベントを実施しています。

Q. 活動をしていて嬉しかったことは？

A. 近年、幸いなことに赤穂市では大きな災害が起こっていませんが、防災についてのイベントに、多くの方が参加されているのを見ると、意識の高まりを感じることができ、嬉しく思います。そうした会での活動が認められ、平成29年4月に開催された「第16回出る杭大会」において、大賞をいただいたことも、大きな励みになりました。

Q. これからの目標は？

A. 南海トラフ地震など、赤穂市でもいつ災害が起こるか分かりません。一人でも多くの方に、防災意識を持ってもらえるように、自分自身の知識も増やしながらか、仲間とともに活動を続けていきたいです。



伝える・備える・減災に
中谷 行夫さん（松原町）

喜楽会（坂越）

12月1日（金）、上高谷集会所において、サロンが開催されました。当日は10名が集まり、輪投げ大会をしながら、順番を待っている間に折り紙を楽しみました。輪投げ大会では、9つの輪を2回ずつ投げ、その合計得点を競いました。なかには、「いつもは0点だけど、今日は24点も入った！」と喜ぶ人もおり、白熱した大会となりました。

その後の茶話会では、「この前の救急車は誰の所だったの？」など、地区の状況が話題になりました。参加者は、「上高谷の同じ班に住んでいても、週1回顔を合わせるかどうか。サロンのように、ゆっくり話ができる場があればいいなと思う」と話しており、住民の情報交換の場としても活用されています。

今回のサロン開催を聞いて、すでに「私も行きたい」という声も聞こえています。当面は、『ミニサロン』として社協へ登録し、細く・長く活動を続けていきます。

※ミニサロン・・・年4回以上実施のサロンに、年間1万円の助成を行っています。
詳しくは、社協(☎42-1397)まで。



喜楽会（坂越）

- 日時：毎月第1・3金曜日
午前10時～11時30分
- 場所：上高谷集会所

ひとり親家庭を応援！！

ランドセル購入費用の一部を助成します



- 対象者
市内在住で平成30年4月に市内小学校へ入学する子どもがいる、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭、または両親ともいない家庭で、助成を希望される方。
- 申込期間 申込受付中～平成30年2月28日（水）まで
- 助成金額 1人当たり 上限20,000円
- 必要書類
 - ①ひとり親家庭ランドセル購入助成申請書
 - ②児童扶養手当証明書（写し）
 - ③健康保険証など子どもの生年月日が分かる書類（写し）
 - ④ランドセルを購入した時の領収書（写し）
※保護者または子どもの名前が記入されたもの
 - ⑤振込先口座が記載されている通帳（写し）
- 申込方法
上記必要書類を揃え、社会福祉協議会へ提出してください。※助成申請書は、社協窓口かホームページからダウンロードできます。

中学生体操服購入費用の一部を助成します



- 対象者
市内在住で平成30年4月に市内中学校へ入学する子どもがいる、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭、または両親ともいない家庭で、助成を希望される方。
- 申込期間 平成30年2月1日（木）～3月20日（火）
- 助成金額 1人当たり 上限12,000円
- 必要書類
 - ①ひとり親家庭中学生体操服購入助成申請書
 - ②児童扶養手当証明書（写し）
 - ③健康保険証など子どもの生年月日が分かる書類（写し）
 - ④中学生体操服を購入した時の領収書（写し）
※保護者または子どもの名前が記入されたもの
 - ⑤振込先口座が記載されている通帳（写し）
- 申込方法
上記必要書類を揃え、社会福祉協議会へ提出してください。※助成申請書は、社協窓口かホームページからダウンロードできます。

心配ごと相談所のご案内（1月10日～2月7日まで）

生活をしていると、色々な心配ごとに直面することがあります。その心配ごとを一人で、あるいは家族や身の周りの人と解決できないこともあります。

心配ごとは、一人で抱え込まず、「心配ごと相談所」へ相談してください。

【一般相談】 1月10日（水） 1月24日（水）
1月31日（水） 2月7日（水）

【弁護士相談】（要予約） 1月17日（水）

【カウンセラーによるこころの相談】（要予約）
1月10日（水） 1月24日（水）
2月7日（水）

※時間はいずれも午後1時～5時までです。※相談は無料です。

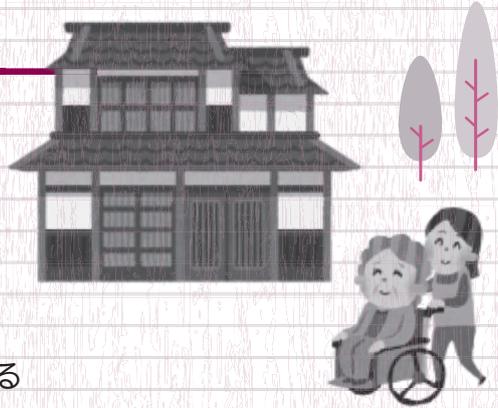
みんなの介護保険

No.9

【住宅改修の基礎知識】

～住宅改修の流れ～

- ① 担当ケアマネジャーに相談する
- ② 業者を決め、見積りを依頼する
(リハビリの専門家に相談するのも◎)
- ③ 書類などを事前に市へ提出する
- ④ 工事着工、工事費支払い
- ⑤ 市へ領収書などを提出する
- ⑥ 介護保険の対象となる工事費用が支給される



注意点

- ・ 事前の申請が必要となります。
- ・ 賃貸住宅などで工事ができない場合、福祉用具のレンタルも考えられるので、担当のケアマネジャーに相談してください。

住宅改修は、本人のためだけでなく、介護する側にとっても負担の軽減となります。

次回は「福祉用具について」です。

おもちゃライブラリー

みんなおいでよ! ～光と影の世界へ～



おもちゃライブラリーでは、赤穂市ファミリーサポートセンターと一緒に冬のイベントを開催します。体操で身体を十分に温めてから、光と影の世界にご案内します。小さな子どもから大人まで、親子で夢中になること間違いなし!

- 日 時 平成30年2月17日(土)
午前10時～11時
- 場 所 総合福祉会館 1階教養娯楽室
- 定 員 50名 ※小学3年生以下の方は保護者の方と参加してください
- 参 加 費 無料
- 内 容 親子体操、指人形・影絵劇 など
- 講 師 体操:山本 理恵 氏
影絵:影絵サークル『かげっこ』
- 申 込 受 付 2月5日(月)～2月9日(金)
《電話もしくは来館いただき、お申込みください》
- 問 合 せ・申 込 先 社会福祉協議会(☎42-1397)



あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況 (12月1日～12月21日受付分)



●委任預託

(敬称略)

住 所	預 託 者	金 額	預 託 内 容
	匿 名	20,000	車椅子借用御礼
御 崎	匿 名	20,000	福祉のために
中 広	匿 名	5,000	車椅子借用御礼
さつき町	宮崎 輝豊	6,142	福祉のために
御崎国民学校同窓会		10,000	同窓会会費残金を
赤穂市シルバー人材センター		18,867	義士祭奉賛酒無料会場にて善意の募金を
	匿 名	5,000	御礼として
土筆会・ほほえみ会・みつばち・山びこ		4,000	しあわせフェスティバル売上金を
上郡町竹万	JA兵庫西播磨管営生活センター	40,000	JA西播磨地区ふれあいフェスタ売上金一部を
三 樋 町	匿 名	10,000	福祉のために
	匿 名	100,000	感謝

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

賛助会費 ありがとうございました

(敬称略)

【個人】 榎本 章 榎本 由香子

福祉の拠点をみんなで支えてください。

(法人会費:5,000円、個人会費:2,000円、一般会費:500円)

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

ちよつとい話

◎高齢者世帯へ給食を届けた日。友愛訪問を受けた時の思いを、達筆な字で書かれた手紙で、ご主人からいただきました。

老いし身に
ソウメンくばりて
元気せよと
篤き励まし
涼しげな夜 感謝
私たちの訪問を、こんなに喜んでくださっていると思うと、胸が熱くなり、いつもより嬉しい気持ちで、玄関を出ました。

老いし身に
ソウメンくばりて
元気せよと
篤き励まし
涼しげな夜 感謝
（こーみん）

「ちよつとい話」募集
（応募方法）氏名（ペンネーム）・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかでご応募ください。2000字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。
※応募用紙は社協窓口か社協ホームページからダウンロードできます。

2018年 春の貸衣裳予約会

社会福祉協議会では、市民の皆さまの新生活に少しでもお役に立てればと、素敵な衣裳を取り揃えてお待ちしております。



期間

2月1日(木)～2月3日(土)
午前9時～午後5時

会場

総合福祉会館2階展示室

特典

- 1 花嫁衣裳契約者 …… 2割引・記念品
- 2 花嫁衣裳20万円以上ご契約者 …… 持込料半額負担 (上限4万円まで)
- 3 その他貸衣裳 …… 1割引

レンタル料

・打掛 …… ￥30,000～	・振袖 …… ￥10,000～
・ウエディングドレス …… ￥20,000～	・モーニング …… ￥5,000
・紋付 …… ￥15,000～	・ゲストドレス …… ￥3,000～
・タキシード …… ￥12,000～	・子ども服 …… ￥3,000～
・留袖 …… ￥4,000～	※新郎・新婦衣裳、振袖の写真撮りのみの場合は3割引

問い合わせ先 社会福祉協議会貸衣裳室 (☎42-1397)

■ 編集後記 ■

新年あけましておめでとうございます。皆さま、よいお正月を過ごされたでしょうか。5ページで紹介した、高雄小学校児童の皆さんからのもち米寄贈について、今年度は春の田植えと秋の稲刈りの作業を取材にうかがいました。大切に育てた稲が豊かに実り、収穫され、こうして届けられていたのだと改めて分かりました。その気持ちも一緒に届けさせていただきます。さて、新たな一年、今年も一人でも多くの市民の皆さまにこの「あこう社協だより」をご愛読いただきますように、また取材についてもご協力よろしくお願いたします。 (あ)



ご意見・問い合わせは ホームページもぜひご覧ください！
社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

赤穂市社協 検索